

項目	内容
名称	カムカム [英]Camu camu [学名]Myrciaria dubia (Humb.,Bonpl. Et Kunth) Burret
概要	カムカムは、ペルー原産のフトモモ科の常緑低木。高さ2～3 m程度に生長する。果実をジャム、ジュースなどにするほか、葉が利用される。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・テルペン類、アントシアニン、エラグ酸などを含む (PMID:16302773)。
分析法	・果実に含まれるアントシアニンをHPLCおよびNMRにて分析した報告がある (PMID:16302773)。
有効性	
ヒトでの評価	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。

生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (PMID:16302773) J Agric Food Chem. 2005 Nov 30;53(24):9531-5.